

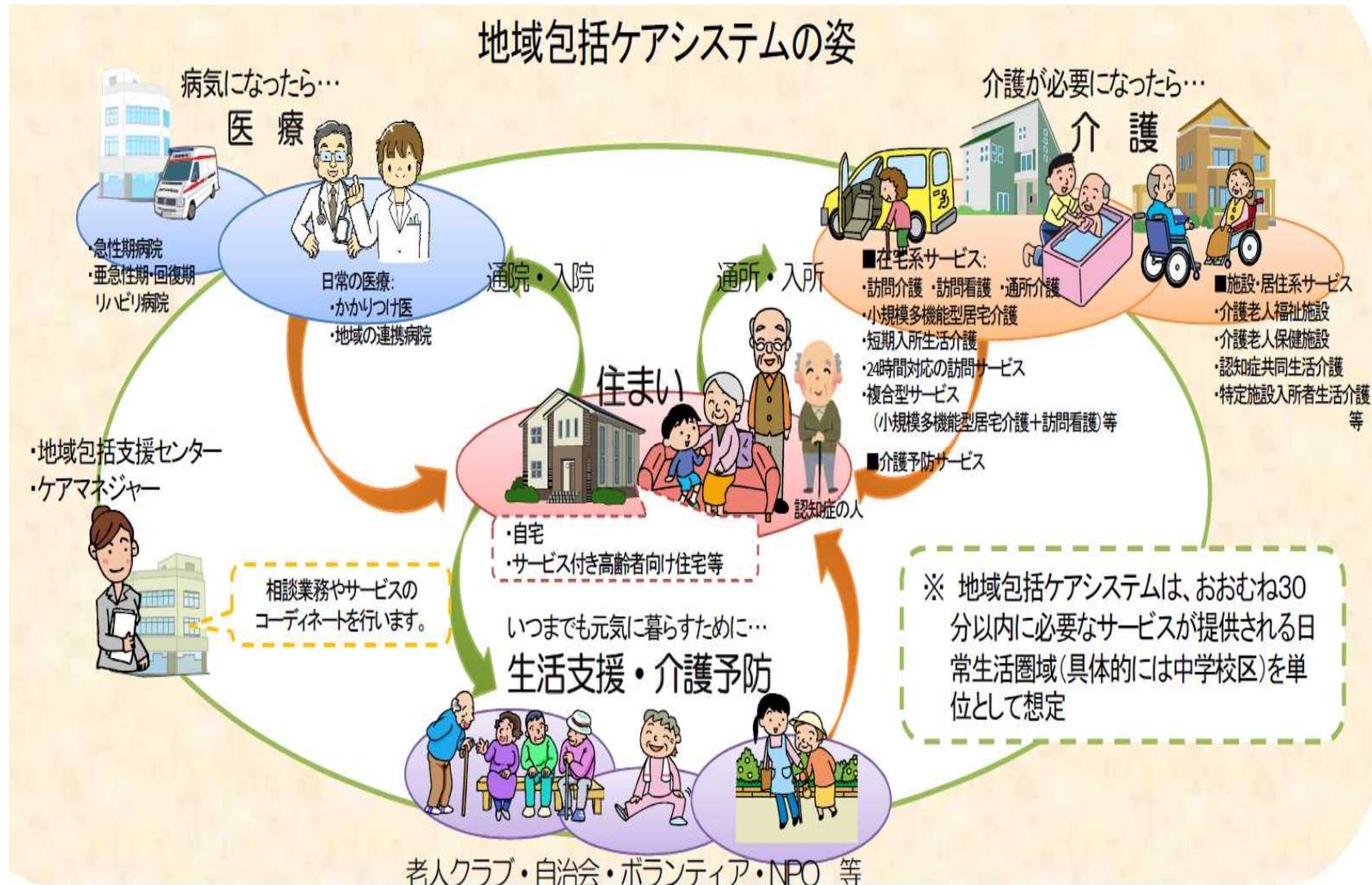
(公社) 岐阜県建築士会

# 「福祉まちづくり建築士」

## 相談員派遣制度 報告

(公社) 岐阜県建築士会  
まちづくり委員会  
福祉まちづくり部会

# 建築士として何かできるのか？



(公社) 岐阜県建築士会

## 「福祉まちづくり建築士」 (福まち建築士)

住み慣れた住まいで安全・安心に暮らすことが出来るよう、  
あなたの町の住まいの専門家「福祉まちづくり建築士」です。



「福祉まちづくり建築士」(福まち建築士)とは建築士会所属の建築士で、他職種と連携して地域で高齢期に対応した住まいの相談に応じることができるよう研修をしながら活動している建築士。福祉まちづくり研修修了者で建築士会会長が任命する者。

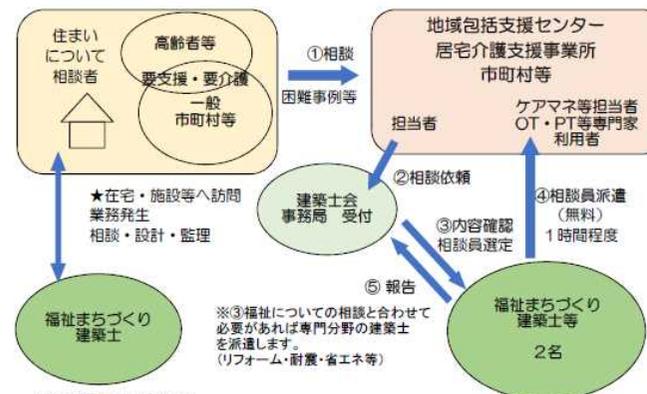
### 【お問い合わせ先】

(公社) 岐阜県建築士会  
岐阜市藪田南5丁目14番12号  
TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367  
<http://www.gifukenchikushikai.or.jp>  
[info@gifukenchikushikai.or.jp](mailto:info@gifukenchikushikai.or.jp)

### (公社) 岐阜県建築士会「福祉まちづくり建築士」相談員派遣制度

2000年以降の介護保険制度の導入などを経て、地域包括ケアシステムの構築を目指す中で、生活の基本となる場所である住宅の改修工事において、医療・福祉分野と建築との連携が不足している現状が浮き彫りになってきました。そこで、岐阜県建築士会では建築士の職能を生かし安心・安全に住み慣れた住まいで暮らすことができるように多職種と連携することができる「福祉まちづくり建築士」を育成し、地域包括支援センターをはじめ居宅介護支援センター、市町村等の相談に対応できるような制度をはじめました。

お住まいの地域の建築士が相談に伺いますので活用してください。



#### 相談派遣制度の流れ

- ①相談申込 相談者または住宅改修者が、地域包括支援センター等に相談を申し込む
  - ②相談依頼 地域包括支援センター等担当より建築士会事務局へ相談員派遣依頼用紙にてFAXで依頼する。
  - ③内容確認 士会事務局は担当地域の福まち建築士を選定し相談業務を依頼をする。必要に応じて他の専門の相談員を派遣することも可能。
  - ④相談 依頼を受けた福まち建築士2名は、地域包括センター等担当者と日程を調整する。相談を依頼された場所(地域包括支援センター等)で相談活動をする。
  - ⑤報告 相談を担当した建築士は、建築士会事務局に業務経過報告書を提出する。
- ★業務 相談者から改修案作成等の依頼があれば、個別に設計・監理業務契約を行い業務に当たります。

|            |           |
|------------|-----------|
| ▶ 1. 岐阜支部  | ▶ 2. 西濃支部 |
| ▶ 3. 各務原支部 | ▶ 4. 中濃支部 |
| ▶ 5. 可茂支部  | ▶ 6. 東濃支部 |
| ▶ 7. 中津川支部 | ▶ 8. 飛騨支部 |



## ■ 「福まち建築士」にできること

### ① 建築士は「わかりやすく説明する」ことが得意です。

介護保険の申請等で業者から出てきた見積もりや図面の解読が難しい、疑問があると思ったら相談をしてください。その時に耐震が心配、省エネにも配慮したい、バリアフリーを考えているなどの要望が利用者からある場合は、その専門知識を持っている相談員を派遣することができます。

### ② 建築士はたくさんの引き出しをもっていてその中から提案することができます。

段差の解消をしたいけれどどんな方法があるの？費用はどれくらいかかるの？滑りにくい材料ってどんなものがあるの？相見積もりが推奨されてます。見積もりを見て工事の内容や材料の特徴を説明することができます。適材適所の材料を提案して一緒に考えることができます。

### ③ 建築士はプランニングを仕事としています。

利用者や介助者の動線を考えて家族みんなが生活しやすい間取りを提案することができます。終末ケア 末期がんなど自宅で過ごされる方も多くなりました。介護がしやすい間取り、必要な機器への対応などを一緒に考えることができます。

### ④ 建築士は将来を見据えた提案ができます。

今必要なことだけでなく将来のことなどライフサイクルに合わせて総合的に考えて提案することができます。大改修を提案されたけれどほんとにそこまで必要なのかの判断に困ったら相談ください。住まいの工夫や福祉用具を利用する方法、部屋の模様替えをすることで安価にできるかもしれません。どんな状態まで自宅に住み続けたいのかを一緒に考えることができます。

## ⑤ 建築士は住環境に配慮したプランを提案することができます。

他職種の方からの情報によりその方の身体に合わせた住まいの提案を一緒に考えることができます。

認知症の方には、わかりやすい工夫、慣れ親しんだ生活を継続するための方法を一緒に考えることができます。

片麻痺の方、リウマチの方など疾病に配慮して残った能力を上手く使って生活ができるような提案を一緒に考えることができます。

介護は大変です。介護家族のプライバシーへの配慮、利用者も家族も穏やかに暮らせるような配慮を一緒に考えることができます。

ヘルパーさんが気持ちよく働いてもらえるような空間づくり。

家族がいない時に在宅へサービスが入ることへの不安などプライバシーへの配慮。

通所サービス利用や外出する時のアプローチ、送迎バスの駐車スペースなどご近所への配慮など一緒に考えることができます。

## ⑥ 建築士は多様な意見をまとめて総合的に提案することができます。

相談者のご意見はもとより、医療に携わる医師、看護師、理学療法士、作業療法士や施工業者・福祉用具事業所などの多様な専門家の異なる意見を、限られたスペース・予算の中で、総合的にまとめる提案ができます。

## ⑦ 具体的な相談ではないが、建築用語、図面の見方、材料のことを勉強したい。

一緒に勉強させてください。（1時間程度）

少人数の勉強会として利用してください。

※1時間以上、人数が多くなると研修等の場合は業務となる場合がありますので個々の建築士にご相談ください。

私たち「福まち建築士」にできることがありましたらお気軽に相談をしてください。



# 福まち建築士 相談事例 (福まち相談員派遣制度)

## 事例1

相談者：市役所介護保険課担当者

### 相談内容

介護保険を利用した住宅改修で提出された見積書の内訳の中で対象となるもの、ならないものの確認がしたい。

**介護保険の改修と身体障害者助成制度の改修で対象項目について建築士の意見が聞きたい。**

- ①項目内容を順番に検証してほしい。
- ②それ以外に図面をみて気になるところはありませんか？
- ③工賃はどれくらいか？

### 相談対応

平面図・見積書・写真を一緒に項目を見ながら検討させてもらう。  
利用者の動線の確認の中で手すりがない部屋があったり、両側に手すりを取り付けている箇所などあるが利用者の状況がわからないために確認をするように提案。  
その他長くこの家で暮らせるために必要だと思われる箇所を提案させてもらった。  
工賃については相場をお話させてもらう。

事例2 相談者：地域包括支援センター ケアマネジャー

## 相談内容

浴槽の深さ57.8cmの跨ぎに掴まるものはありません。  
出入り用の手すりを取り付けたいのですが水道管などが露出しています。  
福祉用具の浴槽用手すりは「蓋ができない」という理由で拒否されました。

### どのように手すりを設置できるでしょうか？

92歳女性 要支援2 変形性脊椎症・骨粗鬆症  
4世代同居

### 相談対応

平面図・見積書・写真を一緒に項目を見ながら検討させてもらう。  
利用者の年齢からみて座位入浴が良いのではないかと、脱衣室から洗い場、浴槽への動線を確認  
手すりを提案させてもらう。  
その他トイレや玄関アプローチの手すりについても相談を受け提案をした。

事例3 相談者：居宅介護支援事業所 ケアマネジャー

## 相談内容

進行性難病の50代女性の改修。  
外出のためのリフォームを予定している。  
福祉用具事業所の見積が出てきたが高額。他にも案があれば検討したい。

**安全に移動するために他の方法もあれば検討したい。他の改修案を提案してほしい**

50歳代女性 進行性難病 予後8～9年といわれている。  
今後1年が自立支援予想期間。ご主人と二人暮らし。介護保険住宅改修残金なし。

## 相談対応

福祉用具事業所の提案を図面、見積共に確認させてもらう。  
改修案は庭をコンクリートで均す案のために庭がなくなり費用も掛かる。  
庭を残し、大がかりな改修でない用具を使った案を提案。  
福祉用具事業所に設置可能かどうか、貸与可能かどうかを検討してもらうように提案。

事例 4 相談者：社会福祉協議会 ボランティア

## 相談内容

地区社協の支え合い活動として制度的に制限があるのか知りたい。

**住宅改修などを行っているが建築許可など受けていない。有償作業が多くなると業になるのか？**

支え合い活動として内容が小さな便利屋さんから工務店がするような内容に発展している。建築許可なしで行っているのだが・・・

## 相談対応

福まち建築士は法律の専門家ではないので回答できないが、作業によっては労働基準監督署の安全衛生課などに相談をしたり、安全衛生に関する講習会などを受けてもらえるとよいのではないかと、社協の上層部の方に相談してもらうようお願いをした。

事例 5 相談者：視覚障害者居宅介護事業所 相談員

## 相談内容

視覚障害のある方の住宅改修  
玄関・トイレ・廊下の手すりについて相談したい。

**身体障害者住宅改善費の助成を受けたい。どのような住宅改修が適正か相談したい。**

64歳男性 視覚障害1種1級。家族と同居。  
賃貸住宅であるが現状復帰されるのであれば改修可。

### 相談対応 1

現況写真、入居時（1年前）のパンフレット平面図を見て相談。

### 現場を見て提案を希望

本人家族より「現地調査をして見積書を作成してほしい」との申し出により今後は業務として福まち建築士が引き継ぎをした。

## 事例 6

相談者：地域包括支援センター ケアマネジャー

### 相談内容

腰部脊柱管狭窄症のある方の住宅改修

トイレ・浴室を住宅改修したい。

チラシを見てプロの目から見た提案をしてほしい。

### 家族と同居。プロの目から見た住宅改修の提案を希望。

79歳女性 要支援2 6人家族、昼間は一人で在宅が多い。  
本人はできる限り自身で生活したい。家族もそれを支えたい。

### 相談対応

現地で相談。それぞれの箇所で改修案を提案。

二通りの見積を施工業者に作成してもらい家族で相談してもらい決定いただく。  
必要があれば引き続き相談対応していく。

事例7 相談者：居宅介護支援事業所

## 勉強会

包括エリアのケアマネジャー向けの研修をしてほしい。  
参加者24名

### 『福まち建築士が考える住環境整備』～介護保険の枠を越えて

#### 相談対応

「福まち建築士が考える住環境整備」について  
介護保険の住宅改修だけでなくリフォームという観点から暮らしやすい家をつくることについて事例を交えて説明した。

事例8 相談者：居宅介護支援事業所 ケアマネジャー

## 相談内容

高齢夫婦世帯住宅のリフォームの相談  
現在は老健に入所中。リフォーム後娘さんと同居予定。  
リフォームの話が大掛かりになり不安を感じて相談したい。

### 居室の床暖房、トイレ・玄関のバリアフリー工事について

夫 88歳要支援2 携帯酸素ボンベ使用、シルバーカー利用  
妻 85歳要支援2 骨折歴、歩行器、杖で歩行可能 認知機能の低下あり  
築30年程 木造2階建て住宅

### 相談対応

話を聞いて、業者のリフォーム案の内容をわかりやすく説明させてもらう。  
高齢の両親との同居のための改修で、床暖房だけのつもりが話が大きくなり混乱されていた様子。  
「話を聞いてもらえて光が見えた気がします。」と言われた。

## 事例 9

相談者：地域包括支援センター ケアマネジャー

### 相談内容

山の斜面にある家の外構工事

高低差が1.2mほどある。介護保険住宅改修工事としてスロープを希望されて図面を作成したが本当に利用者にとって使いやすいか不安だと業者から言われ相談をしたい。

### 1/8 勾配のスロープは高齢世帯に使えるものになるのか？

現在要支援2で入院中。工事は残金も少なく自費の負担が多くなると思われる。外構工事のために市のリフォーム助成の対象外

### 相談対応

図面を見て相談に応じる。1/8勾配のスロープが3か所設置だけの改修案となっており悪天候の日は滑るなど更に危険となると思われる。高齢者世帯には危険な勾配だと思われる。ワイドステップ案、福祉用具の段差解消機とスロープ併用案、階段昇降機案などを提案。福祉用具事業者と施工業者を交えて再度検討してもらうように提案した。

事例 10 相談者：居宅介護支援事業所 ケアマネジャー

## 相談内容

高齢夫婦世帯の住宅改修

建設会社の見積が600万円と高額で、改修するかどうか迷っている間に転倒を繰り返している。早くなんとかしたいので相談にのってほしい。

### トイレ・浴室の住宅改修

56歳男性 脳出血による後遺症で失語症、構音障害、右片麻痺あり  
右足に補装具をつけ4点杖で移動。築70年 木造2階建て住宅

### 相談対応

写真等を確認した後、在宅を訪問して改修案の相談に応じる。  
家族の案は麻痺側に転倒する恐れがあるので安全に移動できる案を提案する。

その後福まち建築士が業務として引き継ぎをした。

事例 1 1 相談者：地域包括支援センター ケアマネジャー

## 相談内容

高齢者の住宅改修  
小地域ケア会議（zoom）の中で意見を頂きたい。

### 玄関アプローチ（階段6段）を安全に出入りするには？

80歳代女性 骨折が原因で車いすを使用。  
玄関アプローチに6段の階段がある。家族対応で外出ができる方法はないか。

## 相談対応

Zoomでの会議に参加  
他の専門職の方の意見を聞きながら住宅改修についての意見を述べさせてもらう。